

政治姿勢と 新年度予算について



小林喜美治議員

◇政治姿勢について

【質問】民主党の「地域主権戦略」について、これは自・公政権時代の「地方分権改革」に民主党固有の危険な政策が加わることが危惧されている。今年の夏ごろまでに「大綱」を策定するとしており、今国会に先行的に、保育所や福祉施設の基準を緩和する（地域主権一括法案）の第1次分や地方自治法の1部改正案が提案されており、来年の通常国会に提出されようとしている。その内容について。

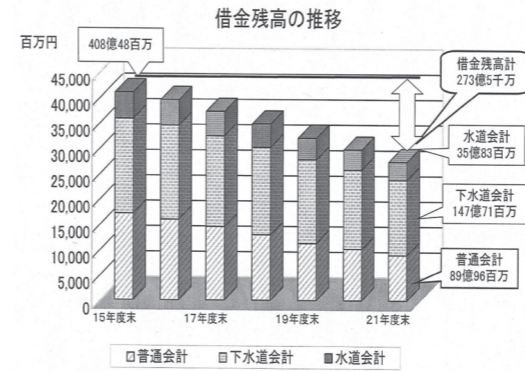
【答弁】内容的にはまだ見えてきていないが、二つのことが閣議決定されたと聞いている。地方との協議を法案化したとの事であるが、飯山市にとって良いものとなるよう対処していきたい。

◇新年度予算と施政方針について

【質問】市長は、今年度の市政運営の基本方針として、「二つの扉」を開くことを表明し、その事業実施の裏付けとなる飯山市財政について、中学校統合など大型事業が終了したこと、問題とされてきた実質公債費比率について、21年度

決算で国の基準を下回ることでできることであるが、22年度の財政運営について、また実質公債費比率の見通しは。

【答弁】新年度予算の重点配分では、後期基本計画の四つの柱に基づいて行っている。主なものでは新幹線関連事業、市営住宅の整備、子どもの医療費無料化を今年は小学校6年生までとするなどである。実質公債費比率は、平成18年から3年間平均の18・6%から、21年度決算では18%以内となるものと判断している。



集中的降雪による 除雪対策は



竹井政志議員

◇集中的降雪による除雪対策について

【質問】市街地の無散水道路・歩道は飯山市のシンボルだが今年冬の集中的降雪で無散水融雪の機能を発揮できず、駅前、中心市街地の交通・通行に大きく支障をきたした。その原因と今後の対策をどのように考えているか。

【部長】一日半で90cmを超えるゲリラ降雪で、熱量で融雪する無散水施設の能力を越えていた。今後、除雪機械投入などで対応していく。

◇不登校児童生徒支援事業について

【質問】飯山市における不登校の実態はどうなっているのか、また現在にかかわっている教育相談員、家庭児童相談員、スクール・カウンセラーの人たちとどのような連携をとっていくのか。またこの事業は国の「緊急雇用対策」事業であり、6ヶ月間2名の雇用。未来の主権者として子どもたちの成長・自立を目指しているのが教育。6カ月で終わらせず飯山市の継続事業にしていくべきと考えるが。

【教育長】不登校は小中校で28名。教育委員会・家庭・学校の関係者



北町の無散水融雪施設個所の排雪作業状況

で連携していく。まず6ヶ月間やってみて、継続していきたい。

◇政治姿勢について

【質問】「子ども手当」の支給は鳩山内閣の「目玉」政策。中学生以下に月額2万6000円（今年度は1万3000円）支給という。しかし、その財源を消費税、住民税の増税に頼ろうとしている。市長としてどのように考えているか。

【市長】授業料無料化や子ども手当などの政策を打ち出しているが消費税などの増税でまかなおうとしているのは問題だ。

介護支援の充実を図り 地域で支え合う仕組みを



小林初子議員

【質問】高齢者の方が住み慣れた地域で生活を継続できるように介護・福祉・健康・医療などの面から総合的に支えるために、地域包括支援センターが窓口となり相談や支援を行っている。県に開設された認知症コールセンターは電話で安心して相談でき、大変有効な窓口となっている。

【部長】多様な施設・多様な媒体を使って周知に努める。

【質問】モデル地区での取り組みを



県に開設された認知症コールセンターの啓発チラシ

【質問】高齢者や障害者の方はバスの乗り降りが大変である。ノンステップバス等の導入の考えは。

【部長】ノンステップバスは車高が低く雪国になじまない。

【質問】国民読書年の取り組みは。

【教育長】乳幼児から本に親しむ取り組みを進める。家庭読書、親子読書の啓発と関連パンフの作成などに取り組む。

市営飯山シャンツェ について



上松永林議員

◇市で改修、高校生以下は無料に

【質問】本市は県下初のスキー伝来の地、スキーの歴史とともに歩んできた。改修が必要となるシャンツェはオールシーズンの本格的なもの。貴重な市民の財産であり、市で維持していくべきでは。また、竹内選手に続く選手育成のためにも、高校生以下は無料、市外の者も市民と同じ利用料でよいのでは。

【市長】利用状況や財政事情からみて市が維持していくのは困難。一億5000万円の改修と以後の管理も含め県への移管を要望している。

【質問】スキー伝来100年で、市民総参加の記念イベントはどうか。

【教育委員長】見やすく手に取りやすい「スキー100年誌」の編集が進行中。企画特別展も企画中。

◇「恋する飯山」に二つの提案

【質問】男女の出会いの場創出は究極の少子化対策であり期待している。今年度の実績と成果は。

【部長】観光協会に事業委託し、6回の観光イベントを行った。参加者153名のうち、市内は男性25名、女性8名で少ない感じ。



飯山シャンツェ